

<p>事業の名称</p> <p style="text-align: center;">市民の目で橋守れ「橋守」サポーター養成事業</p>
<p>事業の分野</p> <p> <input type="checkbox"/>保健, 医療又は福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/>社会教育の推進 <input checked="" type="checkbox"/>まちづくりの推進 <input type="checkbox"/>観光の振興 <input type="checkbox"/>農山漁村又は中山間地域の振興 <input checked="" type="checkbox"/>学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興 <input checked="" type="checkbox"/>環境の保全 <input type="checkbox"/>災害救援 <input checked="" type="checkbox"/>地域安全 <input type="checkbox"/>人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/>国際協力 <input type="checkbox"/>男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/>子どもの健全育成 <input type="checkbox"/>情報化社会の発展 <input checked="" type="checkbox"/>科学技術及び学術の推進 <input type="checkbox"/>経済活動の活性化 <input type="checkbox"/>職業能力の開発及び雇用機会の創出 <input type="checkbox"/>消費者保護 <input type="checkbox"/>団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助 </p>
<p>事業概要 (150字以内)</p> <p>市民が散歩や通勤あるいは地域の清掃などのついでに、15m未満の小規模な橋梁を点検し、異常を見つけた際には自治体に通報して、確認してもらう”「橋守」サポーター“を育成する講習会及び現場見学会を実施する。</p>
<p>社会的背景と解決しなければならない課題</p> <p>*提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。</p> <p>戦後の高度経済成長期にインフラ整備が進み、当時建設された橋梁も建設後50年を超えたものも出てきており、老朽化対策が重大な課題となってきた。岡山県では、平成22年8月に「岡山県道路橋梁維持管理計画」を策定し、15m以上の橋梁を計画的に保全すると共に、15m未満の橋梁点検も進めている。市町村においても15m以上の橋梁点検を実施し、平成25年度中には1回目の点検が終了する見込みである。</p> <p>しかし、市町村道の15m未満の橋梁は数も多く、全体の状況把握が進んでいない地域も多く、今後の維持管理をどう行うか大きな課題となっている。</p>
<p>受益者の範囲 *提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。</p> <p>公募した一般市民(15名程度)を対象に講習会を実施し、新聞・テレビあるいは広報誌などを通じて、市民全体に啓発する。</p>
<p>事業実施後の到達点</p> <p>*事業を実施した1年後、現状の課題がどれだけ改善されていれば提案する事業が成功したといえますか。</p> <p>①講座参加者から「近くの橋に興味を持てた」、「橋の点検方法が理解できた」あるいは、「簡易点検を行ってみる」など近所の橋梁に関心を持てたとの回答を得られること。</p> <p>②参加者の意見を参考に点検方法やチェックシートの改善を行い「簡易点検マニュアル」を改訂して、希望者に配布・啓発する。</p> <p>③「橋の清掃を行った」、「異常を見つけたので担当課やNPO法人に連絡した」など、実践する人が出てくる。</p>

事業の詳細

*事業の対象者・実施方法（どのような内容・方法で）・実施場所・実施手法の特徴，斬新なアイデア，事業の魅力，最も重視していることなどについて簡潔に記入してください。

- ①モデル地区の選定を行い、地図や文献から15m未満の橋梁を調査する。
4月～5月
・モデル地区は児島を予定。
- ②専門家による現地調査を行い、写真や図面による簡易橋梁台帳を作成する。
6月～8月
・おおむね30橋程度を調査する。(橋梁名、河川名、架橋年度、寸法、破損個所等)
- ③簡易橋梁マニュアル及びチェックシートの作成
8月～9月
・専門家によるマニュアル作成会議を5回程度行い、前年度のマニュアルを改訂する。
- ④講習会及び現場見学会を開催する。
8月～9月；参加者を新聞や市の広報誌等で募集する。

講習会及び現場見学会について

講師；行政経験者（岡山県土木部OB等）

特定非営利活動法人TEC. ECO再生機構理事（有資格者3名）

日時；10月中の土曜日 10時～16時

場所；倉敷市瀬戸大橋架橋記念館～現場見学会（3～4橋程度）

対象者；応募者15名程度

- ⑤報告会を開催する。

日時；12月 13時半～16時

場所；倉敷市市民活動センター会議室

参加者；市民、行政、工業高校、企業、NPO法人等

内容；今後どのように「橋守サポーター」制度を推進するか検討する。

団体の能力の活用

*団体の持つ能力や特色を，課題の解決にどう活かしていきますか。

当法人は企業や行政で培った知識と経験を有した技術者が多く在籍しており、一般市民に対して橋梁の基礎知識と点検方法に関して解り易く説明できる。

前年度事業と比較し，拡大・縮小した内容

*初めて申込みをする団体は記入不要です。

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
参加費		
会費からの繰入金	40,000	
その他		
市補助金	280,000	
合 計	320,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費① (対象経費)	人件費	30,000	事前調査(会員)；1,000円×5時間×3人 講習会(会員)；1,000円×5時間×3人
	報償費	20,000	講師料；10,000×2回
	旅 費	60,000	マイクロバス；60,000円
	消耗品費	150,000	別紙参照
	印刷製本費	50,000	マニュアル作成；50部、報告書作成
	通信運搬費	3,000	
	保険料	3,000	ボランティア保険；3名×500円 ボランティア行事保険 20名×50円
	使用料，賃借料	3,000	会場利用料；2日×1,000円、プロジェクター等
	業務委託料		
	小計 ①	319,000	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費		
	食糧費	1,000	打合せお茶代
	その他		
	小計 ②	1,000	
合 計	320,000		

(記入上の注意)

- ※ 実施可能な経費，内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
- ※ 内容欄には，単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
- ※ 経費①は補助対象経費です。経費②は対象外経費です。
- ※ 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。通常の団体運営経費は対象となりません。
- ※ **金額欄は切り上げて千円単位**で記入してください。

